



ききょうだより

令和3年
7月20日
第5号

教育目標 「磨き 輝き 未来をともに拓く」

校長 山田 和弘

やりぬく子 ~よりよい生活をつくりだす、粘り強く取り組む~

新しい生活様式を踏まえた教育活動：「中止・延期ではなく、感染症予防対策を講じた上で実施する方法を工夫改善すること」に主眼を置いて取り組んできた1学期が終了します。学年の枠を越えた活動、全校での活動、密集する可能性がある活動、合唱・調理実習など、まだまだ実施できない活動もありますが、これらの様々な制限に負けることなく、子供たちは元気よく学校生活を送ることができました。今まで当たり前でできたことについて、「なぜ行うのか、どんなことに気をつけて行うのか、どんな工夫が必要なのか」など、学級・委員会、そして私たち教職員も知恵を出し合いました。

1学期のまとめの7月、各学級では、様々な締めくくりの活動・取組が行われました。いじめをなくすキャンペーン、トイレスリッパ・ロッカー・靴箱の整理整頓、学級締めくくり活動（私語・順番など）、委員会による「あいさつ・掃除のキャンペーン、給食のアンケート」など、自分たちの生活をよりよくするための工夫・アイデアを出し合い、学級・全校で粘り強く取り組む『たくましさ』に感動しました。

思いやりのある子 ~みんなが安心して生活できる『美しい学校』を目指して~



7月2日（金）、6年生が全校に向けて思いや願いを伝える学活「いじめを考える日」を行いました。5・6年生全員の思いを出し合ったアンケートを参考に、1～5年生の子に分かりやすいように工夫をしながら、6年生1人1人が役割をもって進めました。タブレットを使ったプレゼン、教室に掲示するポスター、クイズ、点検表など、美山小学校のリーダーとして、頼もしい姿を見せてくれました。発表を聞いた1～5年生は、いじめをなくすために、これから自分が気をつけること、決意を書きました。

- ・こまっているのに、「だいじょうぶ？」ってこえをかける。 (1年 浅野 凜さん)
- ・あいさつを 大きなこえでがんばる。 (2年 木村 明華さん)
- ・学校からいじめをなくすために、悪口はぜったい言いません。 (3年 澤田 秀吉さん)
- ・自分がされていやな事、相手が悲しむ事は、絶対にしない。 (4年 高井 優里さん)
- ・私は「さんよび」をしたいです。相手の気持ちを考えて行動します。 (5年 恩田 唯来さん)

「話しやすい！ 相談しやすいよ！」 ~山県市より、ラウンドテーブルが届きました~

7月5日、山県市より、10台のラウンドテーブルが届きました。これは、山県市教育振興基本計画「やまがた教育ビジョン2020」に示されている『ラウンドテーブル教室の整備事業』の一環として、市内の3小学校に設置されたものです。さっそく、6年生の児童がこの教室を使い算数の授業を行いました。「なんか 話しやすい。」「相談もしやすいよ。」

「教室でやる授業よりも楽しい。」などつぶやきながら、算数の問題に挑戦しました。本事業は、円形のテーブルに座り、互いの意見を出し合って新たなアイデアや方法を生み出したり、異なる意見を交わし合ったりするなど、“自分の考えを仲間に伝えることを意識して表現する力”を育むことをねらいとしています。今年度中にもう1つの教室を整備し、各学年、児童会委員会で活用できるようにします。

美山小学校では、この教室を『アクティブ教室』と名付け、子供たちが生き生きと自分を表現できる教室を目指します。

